

令和5年度 奥山小学校 学校評価

I 令和5年度の取組

【知】学び合い	【徳】認め合い	【体】きたえ合い
(知識・技能) 新しい価値を生み出す ・付けたい力を明確にした単元展開の共有 (思考力・判断力・表現力) 対話を通して深める ・目的を明確にした交流 (学びに向かう力・人間性等) 学びを社会や未来につなげる ・振り返りの内容の充実	(知識・技能) 自己を見つめる ・考え、議論する道徳科授業の実践 (思考力・判断力・表現力) 友達とともに輝く ・「みつけたよカード」の活用 (学びに向かう力・人間性等) 温かくかかわる ・縦割り活動や交流活動の充実	(知識・技能) 健康な心身をつくる ・自律した生活習慣の確立 (思考力・判断力・表現力) 自他の命を守る ・安全意識の向上(交通・防犯・防災) (学びに向かう力・人間性等) 目標をもって続ける ・体力の向上(なわ跳び・持久走)

II 自己評価

○奥山小の子供たちについて

※「%」は、「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計

評価項目	児童	保護者	教職員
1 児童は、一生懸命授業に取り組んでいる。	100%	100%	100%
2 児童は、自分の考えを発表したり、友達と話し合っって考えを深め合ったりしている。	100%	95%	86%
3 児童は、学習したことを生活に生かそうとしている。	95%	92%	100%
4 児童は、自分のよいところ(強み)をもち、将来の夢や希望に向かって頑張ろうとしている。	90%	86%	100%
5 児童は、友達のよいところ、頑張っていることを見付け、見つけたよカードに書いたり、発表したりしている。	83%	89%	100%
6 児童は、学級の子だけでなく、他の学年の子とも仲良く遊び、楽しい学校生活を送っている。	100%	100%	100%
7 児童は、「早寝・早起き」をし、「朝ご飯」を食べ、元気に生活している。	100%	100%	100%
8 児童は、安全に気を付けて生活している。	98%	97%	86%
9 児童は、目標をもって、縄跳びや持久走などに取り組んでいる。	100%	92%	86%
10 児童は、自分から進んで挨拶をしている。	100%	84%	86%
11 児童は、困ったことがあるときには、先生にすぐに相談している。	93%	78%	86%
12 児童は、地域の方と関わりながら学習し、奥山の良さを見付けようとしている。	97%	92%	100%
13 学校は、学校・学級便り、ホームページやブログ等で、校内の情報を発信している。	93%	100%	100%

○職員の評価

・No. 1 や No. 12 の項目より、地域と関わり合いながら、教育活動が行われている成果だと感じる。しかし、No. 2 の項目より、授業での児童同士での深め合いまで至っていないのが課題である。

・No. 13 の項目より、教育活動の見える化が図られていて、保護者や地域の方々の理解を得ながら、教育活動を進めることができている。

・No. 4、No. 5 (児童の評価が低い)、No. 8、No. 9、No. 10、No. 11 (児童の評価が高い) の項目においては、児童・保護者と教職員の数値のずれが大きいため、意識の差を感じる。効果的な手立てを講じていく必要がある。

III 学校運営協議会による学校関係者評価

・学校と保護者、地域住民がさらに結びつきを強め、目指す子ども像に迫ることができるよう、学校運営協議会と連携しながら、教育活動を充実させていく。

・教職員との熟議の場を設け、課題やニーズを共に共有しながら、学校運営協議会との連携を進めていけたらいいのではないかと。

・地域の方たちと十分に接点をもって活動できていると思うが、まだまだ地域の方たちに活動内容が知られていないことが多く感じるため、情報発信の仕方をもう少し考えていければと思う。

・災害時の地域と学校との連携について考えていく必要がある。

IV 今後の改善方策

・校内研修を充実させ、授業改善に努めていく。ICT の様々な取り組みを継続して行い、広がりや深まりがある交流につなげ、互いに学び合う授業を目指していく。

・幼小の交流活動や縦割りでの活動をさらに充実させ、関わりの中で、進んで互いの良さを見つけていける子を育てていく。

・教育活動全般を通して、自然な気持ちのよい挨拶ができる子を育てていく。委員会活動など、児童の主体的な活動を取り入れ、さらに挨拶運動の活性化を図る。

・「心のアンケート」の様子を保護者に伝えながら、いじめの未然防止につながる児童、保護者との相談体制を強化していく。

・学校運営協議会と連携をしながら、地域の「人・もの・こと」をさらに教職員が知る中で、より地域に根差した教育活動が展開できるように、努めていく。

・今後も継続して、学校・学級便り、ホームページやブログ等で、校内の情報を発信し、学校・地域・保護者が一体となり、児童を支え育てていく土壌にする。